

平成28年度 特色ある教育活動の推進計画

1 特色ある学校づくり推進計画

(1) テーマ

確かな学力と豊かな心及び健やかな体の育成にむけた教育活動の創造

(2) 目的

- 伝え合う力を育てる授業づくりを中心とした人権教育の推進
- 心が響きあう道徳教育の推進
- 思考力・判断力・表現力を育成する学習活動の創造に向けた教科教育研究推進
- 小中一貫教育（保小・小小・小中連携教育）の推進
- 体験的学習活動の推進

(3) 内容

- 人権に対する「知識」「感性」「人権感覚」を育成する人権教育の創造
道徳の時間及び教科（算数科）の授業において、伝え合う力を育てる授業づくりを中心とした研究実践の推進および、すべての教育活動・環境づくりを含めた総合的な取組により、人権教育の推進を図る。
- 思考力・判断力・表現力を育成する学習活動の創造に向けた教育研究推進
思考力・判断力・表現力を育成するために、算数科の授業改善を図り、つながり、響きあう授業の構築をとおして「かわちのまなび」授業モデルの確立をめざす。
- 小中一貫教育の推進において、算数・数学科の授業研究を通して、学習規律・学習習慣の確立に向け、「9年間の学びのモデル」づくりに取り組む。
- 体験的学習として、地域の「ひと・もの・こと」や伝統文化を、生活科・総合的な学習の時間を中心とした学習活動及び学校行事に取り入れた学習活動を推進する。

(4) 計画

- 道徳の時間の充実を図り、地域の特色や児童の実態、発達段階に応じた指導を構築する。
 - ① 教材開発、指導方法の工夫・改善
 - ② 授業研究及び理論研修の実施
- 小中一貫教育の研究テーマに沿った、思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりを進める。
 - ① 外部講師を招聘しての理論及び授業研究
 - ② 川地中学校区合同公開研究会の開催
 - ③ 研究成果の発信
- 小中一貫教育（保小連携を含む）を推進する。
 - ① 合同研修等の開催及び児童と保育園児・生徒との交流学習の推進
 - ② 3機関（保・小・中）の共同による生活リズム定着に向けた取組や算数・数学科を中心としたオリジナル・カリキュラム（9年間の学びのモデル）及びコアカリキュラムを中心とした一貫教育の推進
- 地域の「ひと・もの・こと」や伝統的な和文化の継承を学習活動に取り入れた教育活動を推進する。
 - ① 各学年の生活科・総合的な学習の時間のテーマにそって、地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた体験的学習活動の実施。
 - ② 学校行事や学習活動への体験的学習活動を効果的に取り入れる。
宿泊体験活動の実施・社会見学の実施

(5) 期待される成果

- 次の取組により、人権に対する「知識」「感性」「人権感覚」を育てることができる。
 - ① 道徳の時間の充実を図り、地域の特色や児童の実態、発達の段階に応じた指導法の構築を図り、児童の道徳的価値の高まり、共感しつながりあう力の育成。
 - ② 川地中学校区の小中一貫教育における研究主題を「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」とし、算数科・数学科を中心とした指導方法の工夫・改善を中心とした実践的研究を進める。この研究によって、思考力・判断力・表現力を育成することができると思う。

- このことにより、9年間の学びのモデルを確立する。
- 保育所を含めた小中一貫教育を推進し、基本的な生活習慣の定着や、幼児期を基盤にしながらか中の9年間において計画的・継続的に教科指導や生徒指導を行い、確かな学力や豊かな心を養うことができる。
 - 体験的学習活動を通して、地域の「ひと・もの・こと」を学習へ取り入れ、地域に出かけ地域の人との交流を図ることで、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」など、キャリア発達を促すことができる。また、日常では体験・見聞できないことや自然にふれながら学習することや伝統文化に触れ、体験することで、感性を豊かにすることができる。

2 特色ある教育活動推進計画「校風の教育」

- (1) 心の力を育てる
 - 自分を大切にし、人も大切にし、共に生きる（人権教育の理念に基づいた教育活動）
 - 自己肯定感の向上
 - 自分の言葉で話す力
- (2) 基礎・基本の学力の向上
 - 読書活動の充実（毎朝の読書タイム・水曜日ロング読書タイム・読み聞かせ）→ よ〜める
 - ドリルタイム・ぐんぐんタイム
 - 放課後個別指導（計画的に、家庭との連携を密に）
 - 自学（家庭学習）の充実（基本的生活習慣・元気を育てる生活づくり の確立）
 - 学習規律（忘れ物、提出物）
- (3) 体力づくり
 - 早朝・休憩時間の遊び
 - 姿勢 → 立腰・体幹 鉛筆の持ち方
 - 縄跳び（縄跳び検定）・持久走（3分間ランニング）・課題運動
 - 食育の充実
- (4) 人間関係形成・社会形成能力（キャリア発達）
 - あいさつ（レベル5のあいさつ運動）
 - 全校遊び（児童集会）
 - 異学年交流活動（縦割り班活動）
 - 今月の「きらきら」（見取り）⇒評価
 - コミュニケーション力の育成
 - 地域の教育力に依拠した学習展開（生活科・総合的な学習の時間）
- (5) 豊かな感性
 - 響く歌声（音楽朝会・合同合唱）
 - 和文化体験（俳句教室・お茶作法・絵手紙教室）
 - 芸術鑑賞
 - イングリッシュデー（外国文化との出会い）
- (6) 思考力・判断力・表現力の育成
 - 教科研究推進⇒算数・数学科を中心とした授業工夫・改善
 - 三次版授業モデル、かわちのまなび（川地小版授業モデル）
 - ノート指導の充実（川地小版ノートモデル）→ノート交流
 - 「書く」力の育成（日常的に書き馴れる・日記、メモ）
- (7) 基本的生活習慣の確立（保育所・中学校と連携して）
 - パワーアップ週間（生きる取り組みに）
 - 3快プラン（学区での取組）
 - 家庭読書（ノーメディアデー）
- (8) 小中一貫教育の推進
 - 合同ボランティア活動
 - リトルティーチャー（外国語活動）